



えがお 愛顔つなぐえひめ国体 みきゃん通信

問 鬼北町国体推進室 内線4203・4204

No.9

民泊のお手伝いをしてもらう民泊協力会では、総務班、調理班、美化班、歓迎班、家庭班の5つの班で活動していただきます。

今回は、美化班と歓迎班の活動についてご紹介します。

美化班

選手や監督をお迎えする環境を整備するため、次のような活動をしていただきます。

●活動内容

- ①集会所等の民泊拠点施設や道路の清掃
- ②プランターでの花の育成・飾花



プランターでの花づくりの様子
(岐阜県池田町)

歓迎班

歓迎ムードを演出するため、次のような活動をしていただきます。

●活動内容

- ①のぼり旗・看板等の作成・設置
- ②歓迎迎会の企画・運営
- ③応援団の結成



会場での応援の様子(岐阜県池田町)

次回は家庭班の活動内容についてご紹介します。

民泊の思い出

試合応援の際には家族同然に

(兵庫県宍粟市／銃剣道競技／民泊受入家庭)

何がなんだかまったくわからない状態での民泊引受け。受入家庭がなく、それを見かねた主人が受けてきた話。家族の反対を受けながら、しょうがないかと何度も自分に言い聞かせました。

まず泊まっていただく部屋の準備から始まりました。とにかく気兼ねなくゆっくりと泊まっていただけのように、いろいろと考えてみたつもりですが、日一日と近づいて来ると心配やら不安やら…当日が来るのを長く感じたのを思い出します。民泊当日からあわただしく日が過ぎ、監督とコーチが選手の人たちと何度も打合せに行き来されるのをそっと見守るばかりでした。

試合の応援のときにはもう家族同然になっており、試合が進むにつれ、どれだけ力が入った

ことか。各地区にそれぞれの思い入れがあり、試合会場はすごい熱気につつまれていました。

最後の別れのときには、一番反対していた祖母が一番寂しく感じていたようで、あれから思い出しては「どないしよってやろうなあ」と何度となく口にしていました。

人と人との繋がりが薄くなりつつある現在に、全く知らない人たちが熱い何かで結ばれることは最近なかったように思います。やっぱり人間です。心が通い合うということは、とっても気持ち温かくなります。国体に何らかの形で参加された方々は全員そう感じられたのではないのでしょうか。

